

# 大阪維新の会大阪府議会議員 土井達也の府政報告

(1面のつづき)

## 9月定例会 環境産業労働常任委員会 (10月13日)

### 大阪湾のアマモ



**Q** 阪南市の箱作自然海岸の大変豊かで広大なアマモ場が9月下旬、消滅していた。このアマモ場の消滅原因の究明とその復元、そして、大阪湾沿岸の藻場保全・再生について伺う。

**A** ブルーカーボン生態系の一つである藻場は、CO2の吸収源となるほか、水質改善や魚類等の生育の場となり生物多様性が向上するなど多面的な価値を有していると認識。アマモの保全再生は、主に地元NPO等が取り組んでいただいております。大阪府は、大阪府立環境農林水産総合研究所と連携し、まずは大阪湾におけるアマモ場を含めた藻場の分布状況の適切な把握に努めていく。また、令和4年1月策定「大阪府海洋ブルーカーボン生態系ビジョン」に基づき、岬町から泉佐野市沿岸において海藻が根付きやすいブロックを海底に設置し、より大型で定着性の高いカジメ等の藻場造成に取り組んでいるところ。本ビジョンの取り組みを着実に進め、藻場の創造・保全を行うことにより、ブルーカーボン生態系によるCO2削減と水産資源の増大に取り組んでまいります。

**Q** 私はこの26年間箱作自然海岸周辺の海に潜り、アマモ場の観察を行ってきた。この観察を通じて、大阪湾における生態系の保全の重要性を認識しているところ。そこで、大阪府では、漁場環境の整備について実施してきた取り組みについて伺う。

**A** 大阪府では、これまで漁場整備事業として、昭和20年代から大阪湾の南部海域を中心に、魚を集めるための魚礁や自然石を投入する「つき磯」の設置を行っていた。

昭和51年からは、大阪湾の中部から南部において、各種の魚礁設置や魚介類の産卵場、幼稚魚の成育の場となる増殖場の造成のほか、ゴミやヘドロ等が堆積した海域の堆積物除去や砂で覆うことによる底質改善などの事業を行ってきた。平成14年から漁港漁場整備法へ漁場整備事業が統合された以降も、増殖場の造成を継続的に実施してきた。直近の平成25年から令和3年には、大阪湾の中部から北部の貧酸素水塊の発生海域に、海底付近の海水を上昇させ、攪拌する機能を持ったブロックを設置し、海域環境を改善するとともに、その効果調査を行ってきた。このように、大阪湾沿岸海域の特性や魚介類の生息環境、生活サイクルに応じて、様々な漁場整備事業を実施してきたところ。



## 万博推進強化の意見書案を可決 国に提出しました!

11月20日

### 【意見書の名称】

我が国の発展に資する大阪・関西万博の推進強化を求める意見書

### 【意見書の概要】

大阪・関西万博を単なるイベントとして成功させるだけでなく、万博をインパクトに大阪・関西、ひいては日本経済の成長・発展に確実に結びつけていくためにも、開催主体である国においては、主導的な役割を果たしつつ、以下について適切に対応されるよう強く要請する。



- 1 万博の会場建設費については、新たに予備費を計上していることにも鑑み、今回の増額を最後とすること。
- 2 徹底したコスト管理とコスト削減を可能な限り追求することに加え、定期的に会場建設費の執行状況を国民に公表することを契機に、万博に関する様々な情報の見える化を更に進めること。
- 3 万博成功の鍵となる「未来社会の実験」の実現に取り組むとともに、万博のメリットを全国で享受するためにも、機運醸成や国内外との交流拡大、子どもの参画促進など、地域の特性に応じた地方の取り組みを強力に支援すること。
- 4 万博で実証・実装された最先端技術やサービスなどが、万博のレガシーとして人類共通の課題解決や日本の経済的・技術的発展に資するものとなるよう精力的に取り組むこと。
- 5 来場者の安全・安心の確保は最優先で対応されるべきものであり、必要な警備体制の構築などについては、国において万全の措置を講じること。
- 6 万博に対する非常に厳しい声があることから、万博開催の意義や会場体験できるコンテンツ、経済効果などについて、あらゆる機会や広報媒体を活用して発信することで、国民の更なる理解促進につなげること。

## 物価高騰支援の補正予算案 62億円 を可決! 府議会11月定例会 (12月12日)

### エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けた事業者への支援に緊急に必要な経費を追加

福祉施設、医療機関、私立学校等への支援 (53億円)

トラック運送事業者への支援 (6億1,600万円)

畜産農家への支援 (3,500万円)

公共交通事業者への支援 (2億円)

## 11月30日 2025大阪・関西万博 開幕まで500日

### ワクワクしながら カウントダウン



### 「大阪来てな! 万博開催500日前イベント」が開催

大阪・関西万博アンバサダーのコブクロによるスペシャルパフォーマンスやアパンギャルディによるオープニングパフォーマンスのほか、大阪来てな大使に就任した歌舞伎俳優 片岡愛之助さんによるトークセッションなど、この日限りの特別プログラムが披露されました。



主催：大阪来てなキャンペーン実行委員会 (構成団体：大阪府、大阪市、公益財団法人大阪観光局)  
場所：NHK大阪ホール

## 2025大阪・関西万博 大阪パビリオン

### 建設工事順調に進捗

### 令和6年10月末完成へ

2025年大阪・関西万博で大阪府・市と経済団体が出展する地元館「大阪ヘルスケアパビリオン (大阪パビリオン)」の建設工事が順調に進んでいます。建物の鉄骨工事がほぼ完了し、令和6年10月末の完成を目指し、外壁工事などが始まっています。

大阪パビリオンは、「REBORN」(リボーン)をテーマに、未来の食や文化、ヘルスケアなどをバーチャルと現実の両方から体験できるとのこと。2050年ごろのミライの都市生活をイメージした展示が行われますが、その展示や運営費は主に協賛金・寄付金を充てる予定です。



提供：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会



**くるぞ、万博。** 前売チケット 販売中!!

2025大阪・関西万博

開催期間 2025年 4月13日 - 10月13日

くわしくはこちら